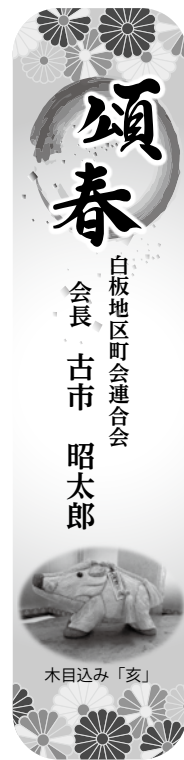


常念通り

白板地区公民館
館報編集委員会
☎(35) 7740



白板地区町会連合会

会長 古市 昭太郎

木目込み「亥」

白板地区の皆様明けましておめでとうございます。

迎えました新年が、皆様方にとって健康で明るく元気の生まれる年でありますように心よりご祈念申し上げます。

日頃はいろいろなかたちで地域の皆様方に白板地区公民館をご利用いただき、また白板地区の活動にもお力添えを賜り、深く感謝申し上げます。

ありがとうございます。

白板地区公民館は、白板14町会の情報発信元であり、人的交流の場ともなっております。館内には、地域づくりセンターも置かれ、行政の最先機関として幅広く地区内に目を配り、皆様のご相談ごとなどにも気軽に対応してきています。ありがたい事です。

連合町会長会を始め、各

種団体の会合なども行われ、白板地区の生活環境を醸成してくれています。また館長

の特技であります写真撮影により、講座や行事の紹介等のほか、地区内のイベントや情報が満載、展示されています。是非一度ゆっくりとご覧

にご来館ください。天皇陛下が譲位され平成が代わる今年度は、いろいろな影響があると思われすが、白板地区連合町会では、皆様と手を取り合って安全・

安心暮らしやすい地域づくりに励みますので、ご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。



いけ花講座 お正月準備
若松・寒竹・千両など

新春連載

町内公民館長さん達に熱い
思いを語っていただきました。

宮淵東公民館

館長 林 義弘

宮淵東公民館は築38年の木造建築で、宮淵日向町会との共有で共同管理しています。

去年は公民館の「名札看板」を町会長の筆により新調しました。

運営に当たっては住民の皆様が気持ち良く利用できるような心がけています。

町会行事では、毎月15日に行っている「宮淵喫茶」で季節の食感を楽しませてもらっています。

「しめ縄教室」での作品は、一人暮らしの高齢者宅にお届けしてきました。「そば打ち教室」と

三九郎に併せて「繭玉作り」は、設備の整った白板地区公民館調理室を利用してもらいました。

これからも、笑顔で楽しめる町会であることを願っています。

宮淵新橋公民館

館長 加藤 鉄郎

二〇一二年、東日本大震災の秋、私は親族の介護のため家族と共に愛知県より当地に転居して参りました。土地勘はあるものの実質完全アウェイからのスタートです。手に技術がありますのですぐに再就職出来、今日に至っております。

町会長始め町会役員の皆様に助けて頂きながら館長をさせて頂いておられます。

フルタイム勤め人を兼ねての館長・他地域での目線も持ち合わす館長・在宅介護の手伝い経験のある館長：等々、町会員のさまざまなお悩み・状況を理解出来る用意があります。「社会の黄金柱」となり、町会役員の皆様と力を合わせて宮淵新橋町会を盛り上げて参ります。

宮淵本村公民館

館長 青柳 嘉朗

宮淵本村は、北に宮淵浄化センター、西に奈良井川、南に田畑、東にJRに囲まれ、中を国道19号が通る、60世帯ほどの町会です。

町会行事として、ふれあい会食会、そば打ち会を通じて、町会の皆様に参加して頂き活動が出来ましたが、参加者の確保が課題に上がります。

また、近年の少子化から、青山様・ぼんぼんや三九郎の存続の危機を迎えています。

今後、少子高齢化が進む中で、少しでも多くの方の参加して頂けるよう努めていきたいと思っております。

講座 松本城と世界文化遺産

11月8日(木)、白板地区公民館視聴覚室で「国宝松本城と世界文化遺産」についての講座が開催されました。講師は、松本城管理事務所研究専門員南山孝氏と松本市文化振興課世界遺産推進担当桑島直昭氏の両名で、松本城の歴史や国宝5城の比較・武田信玄の時代の深志城は場所も規模も不明なことや、世界遺産を目指す現状について学習しました。

11月22日(木)は、松本城を南山孝氏の案内で、戦国期と江戸期という性格の違う時代の天守・櫓が複合された天守群は我が国唯一で、松本城の歴史的な特徴があること、大天守1階の床下に昭和の大修理で交換した瓦などが保管されていること、チョコウナで削られた角柱が美しく黒光りしていること、天井の柱に「昭和式拾八年修補」の刻印があること、5階の柱に縄の跡と言われる傷があること、大天守最上階に二十六夜神が祀られた謂れ等を学びました。松本城の素晴らしさを後世に伝えていかなければならないと感じました。



本丸御殿跡の説明を聞く参加者
この後入城して見学

自治の鐘 丸ノ内中学校

7

いよいよ引き継ぎ

〜三年生から二年生へ〜

十二月、いよいよ三年生から二年生へと生徒会が引き継がれました。

三年生は、学校をよりよくしようと今までさまざまな活動を行ってきました。その中でも特に、丸ノ内中学校が大切にしている三本柱を強く意識して頑張ってきました。三本柱とは、「挨拶」「清掃」「合唱」です。この三本柱を向上させるために、それぞれの委員会でのような活動を行えばよいか考えています。たとえば、代議委員会では、挨拶に対する一人一人の意識を向上させるため、「挨拶プロジェクト」を行ったり、清美委員会では、いつも使っている教室をきれいにするため、「教室感謝デー」を行ったりしました。また、学芸委員会では、クラスの絆を深めるため、「クラス対抗歌合戦」などを行いました。



活発な討議が行われた生徒会総会

げてくださった伝統を引き継ぐとともに、私たちにしかできない生徒会を創っていきたいと思います。これからは、生徒会委員会の計画を進めるとともに、生徒会大目標の決定や、三月に行われる生徒会総会、三年生を送る会に向けて活動していきます。忙しくなりますが、力を合わせて頑張っていきたいです。



リース飾りの前で記念撮影

クリスマス会

12月16日(日)午後、白板地区公民館で、丸ノ内スポーツクラブ「クリスマス会」が、参加者48名で開催されました。

4チームに分かれて、リース作りを行いボードに貼り付けて会場に飾りました。その後、天秤玉入れ等2種類のゲームを楽しみ、サンタクロースからプレゼントを受け取りました。

次に、ケーキに思い思いに飾り付けをおこない、文化委



井垣陽子さんのリードで大合唱

員の井垣陽子さんのリードで「赤鼻のトナカイ」など3曲をみんなで大合唱をし、ケーキなどを食べて楽しいひとときを過ごしました。又、途中で井垣さんが手品を披露して、子供達が喜んでいました。「ゲームが楽しかった」「リース作りやケーキ作りが楽しかった」「ケーキづくりの飾り付けが楽しく、美味しくできました」等の感想が聞かれました。

人権啓発視察研修会

12月8日(土)白板地区の町会長を中心に18人の参加者で『満蒙開拓平和記念館』へ視察研修に行きました。

この日はちょうど太平洋戦争の開戦の日に当たり、松川高校ボランティア部の男子生徒8人が、ガイドをしてくださいました。満蒙開拓の歴史、当時の暮らしなど、資料を見ながら一生懸命説明し、質問にもしっかりと答えていました。

忘れてはいけなない悲惨な歴史を、若い彼らなりに理解して伝えていこうという思いが、私達の心にも伝わり感慨深い研修会となりました。



松川高校の生徒によるボランティアガイド 開拓団の住居の一部を再現した模型の前にて

田川小学校・丸ノ内中学校の児童生徒の人権啓発ポスター展(18作品)を2月18日まで白板地区公民館で行っています。